



がっこう

学校だより

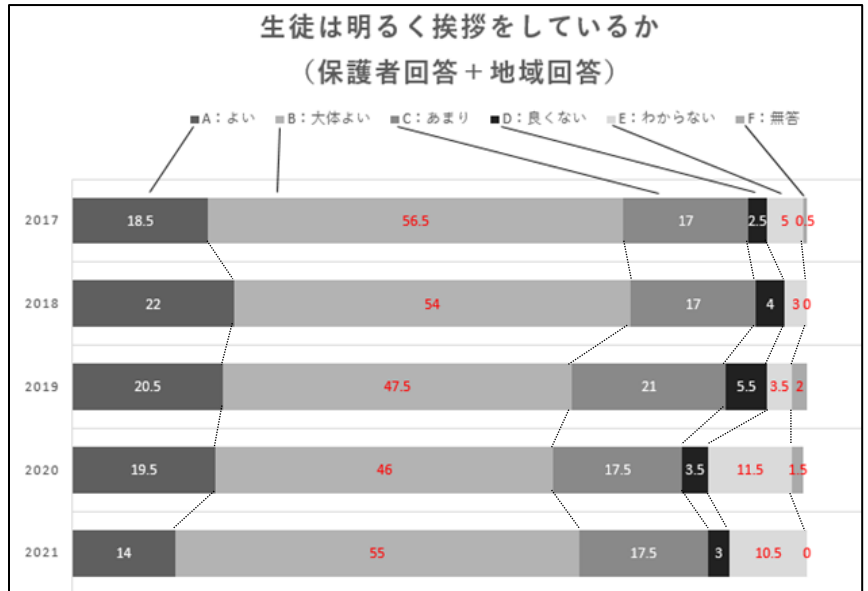
令和4(2022)年2月25日
横浜市立六浦中学校
校長 込江 茂久

「だれもが安心して豊かに」生活できる学校を目指して

年度末に析く

こうちょう こんえ しげひさ
校長 込江 茂久

保護者・地域の皆さまには学校
評価アンケートにご協力いただき
ありがとうございました。GIGAスク
ール元年にあわせて WEB上で回
答する形に変更したところ回答率
が下がりました。今後より回答しや
すいよう工夫します。



アンケート結果についてどのように活用するか上の表を一例に挙げて説明します。このグラフは生徒の挨拶の評価を5年分まとめたものです。まず2020年から「E:分からない」が増えていることに着目します。ここからはコロナ禍で学校行事等に制限が多くなり、保護者・地域の皆さまと生徒との接点が減ったことが読み取れます。次に肯定的な評価(AとB)についても5年間で低下している点に課題を見いだせます。そこで今年度の挨拶に関する取組を振り返ると、本校では挨拶できる生徒を育てるために、保護者・地域の皆さまのご協力による朝の挨拶運動、生徒会の挨拶運動、「六中6つのあ」のアピール活動、挨拶啓発ポスターの製作・掲示、学級や部活動での指導等に取り組んできました。しかしその結果として評価が下がっているのですから、これらの活動に何らかの変化・工夫が必要だと考えます。もしくはこれらの取組以外に起因する変化であることも考えられます。例えばコロナ禍での不安感が生徒の心や行動に影響したという仮説も立てられます。その観点から学校の取組を改善するならば、生徒に対し今まで以上にありは違った方法で寄り添っていくことが考えられます。

このように数値から生徒の変化や現状を見立て、より効果的な教育活動に高めていくことが学校評価アンケートの真価です。一方、「自由記述」からも改善点を見つけることができます。例えば挨拶に関するご意見として「毎朝登校する六浦中の生徒さんから元気ももらっています。思春期の子どもたちが自分から挨拶するのって素敵だなんて思います」「15年以上六中を見てきましたが積極性のある生徒が少なくなってきたように思います。」などが挙げられます。どちらも学校の在り方に気付きを与えてくれる貴重なご意見です。このように頂戴したご意見はすべて受け止め、今年度の教育活動を確認し振り返り、その上で次年度の計画に反映させていただきます。